学校だより

平成29年10月27日

１　１　月

横浜市立あざみ野第一小学校

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azamino1/　０４５－９０２－７１５１

先入観でみてしまうと・・・

副校長　　鈴木　智彦

「先生、カワセミを見たよ！」「オオルリがいたよ！」
上郷宿泊体験学習、２日目の自然観察から帰ってきたグループの第一声でした。
「どこで見たの？」「あがってくる坂のところ。」

この時、私がのみこんだ言葉が（カワセミは水辺に縄張をもつから、そこにはいないんじゃない？）（オオルリは渡り鳥だから、この時期はもう移動しているんじゃない？）でした。
４年生が事前に上郷の生き物や植物について調べていたことは知っていました。別の野鳥を見て、知っている野鳥の名前をあげたのだろう。知識が先入観となり、せっかく本物を見ても、正しく観察できてないのでは？と思いました。今は情報が様々にあふれています。常に情報をアップデートし、必要なものを選びとる力が求められます。誤った情報をもとに、正しく判断できていない。正に、その場面だな、と思いました。

翌日、上郷の自然観察センターに確認のために電話を入れました。
「子どもたちが、カワセミを水辺から離れた坂道のあたりで見たと言っていますが、カワセミの生息エリアからは外れていますよね。」
すると、自然観察の森のレンジャーからはこんな返答がありました。
「カワセミの縄張は意外に広く、その場所でも、１０月８日（日）、９日（月）で目撃情報がありました。姿を知っているのであれば、実際に見た可能性が高いです。見逃さなかった子どもたちをほめてください。」
オオルリについても聞いてみました。確かに移動する時期ではあるのですが、中継地としてまだ、上郷にいる可能性はあるそうです。

中途半端な知識で知っているつもりになっていたのは「私だった」ということに気付きました。本来は、子どもたちの良さを認める場面も、こちらのとらえ方次第で、否定する場面にもなりかねない。今回の事をしっかり受け止め、子どもたちに関わっていきたいと考えています。